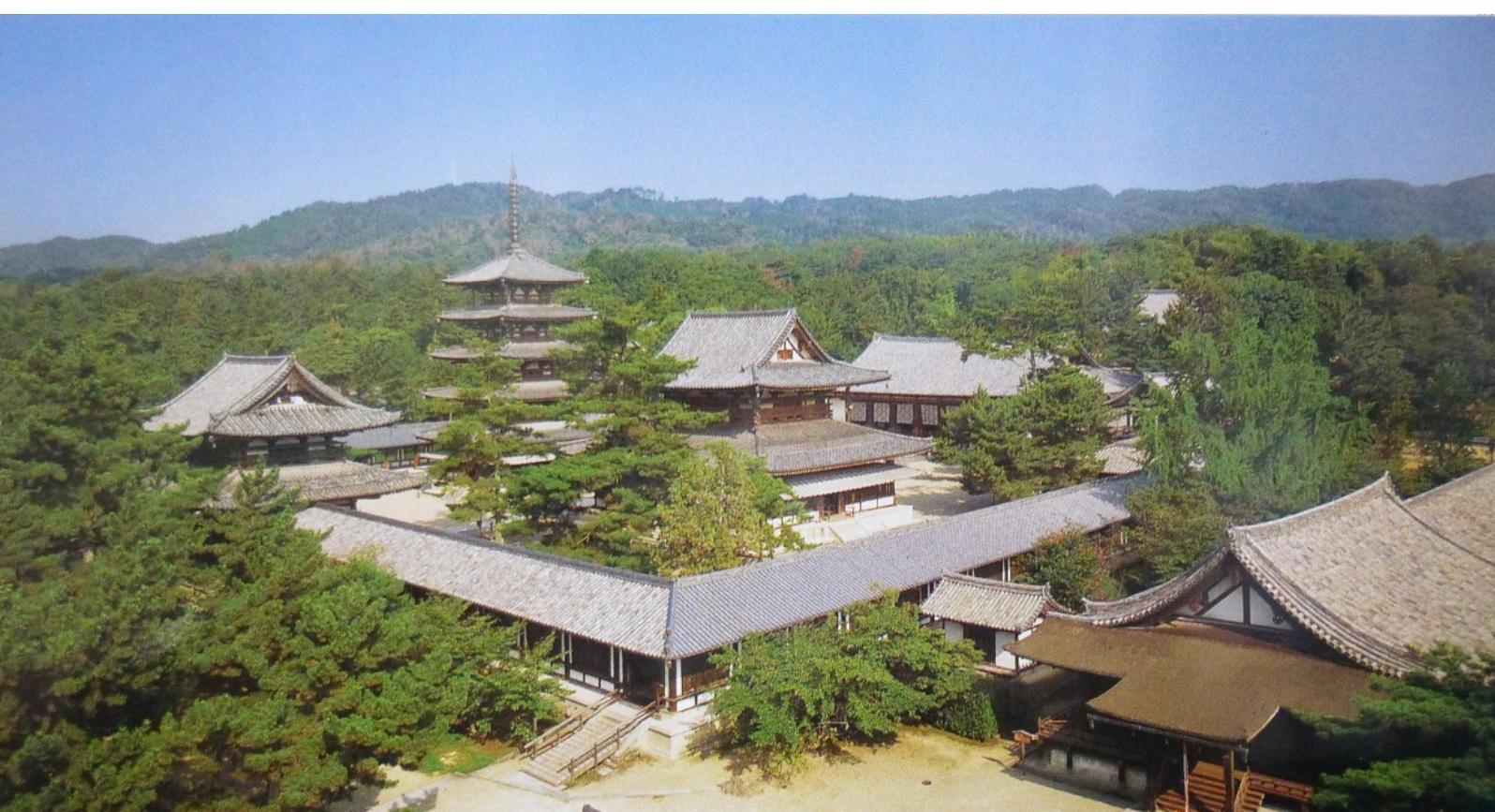


法隆寺ゆかりの都市 文化交流シンポジウム



平成25年11月16日（土）
午後2時30分～午後5時30分
小田原市民会館 小ホール

～ 1400年の時を超え、再び結ばれた斑鳩と小田原 ～

世界最古の木造建築物 法隆寺のある斑鳩町と小田原市は、友好関係を育み、交流を重ねながら互いの魅力や活力を高め合うため、平成24年2月に「法隆寺ゆかりの都市文化交流協定」を締結しています。

両市町のつながりは、奈良時代にさかのぼります。法隆寺の食封()として、小田原から法隆寺に物資や労役を提供していたことが当時の史料に記されており、かつて斑鳩と小田原の間で人や文化の交流が盛んに行われていたと考えられています。

3年前、法隆寺の大野玄妙^{げんみょう}管長が小田原を訪問された際に市長と対談し、「古くからのご縁を大切にしましょう」と話されたことから、文化交流協定を締結し、両市町間での交流展の開催や観光行事への参加を通じて交流を深めてきています。

()食封(じきふ)
古代の律令制に基づく俸禄制度の一つ。皇族や寺院に俸禄として一定地域の住民の戸を与え、そこから得られる租税を収納し、収入とすることができる制度。

「法隆寺ゆかりの都市 文化交流シンポジウム」 次 第

開 会

第 1 部 基調講演

- 「不揃いの木を組む」 小川 三夫(宮大工・株式会社鶴工舎創業者)
「和の文化と歴史の町づくり」 大野 玄妙(法隆寺管長)

< 休 憩 >

第 2 部 パネルディスカッション「歴史のご縁を通じた都市間交流」

- 大野 玄妙(法隆寺管長)
小川 三夫(宮大工・株式会社鶴工舎創業者)
小城 利重(斑鳩町長)
加藤 憲一(小田原市長)

[コーディネーター：小田原市文化部長 諸星 正美]

質疑応答

閉 会

基調講演講師紹介

大野 玄妙

(おおの げんみょう)



昭和22年、大阪府生まれ。龍谷大学文学部を経て、同大学院修士課程を修了。平成5年に法隆寺執事長となり、法起寺住職、法隆寺住職代務者、聖徳宗管長代務を歴任。平成11年より法隆寺管長を務める。平成22年、小田原来訪の際に加藤市長と面会したことが、斑鳩町と小田原市との交流開始のきっかけとなる。

法隆寺管長

小川 三夫

(おがわ みつお)



宮大工・株式会社鶴工舎創業者

昭和22年、栃木県生まれ。高校の修学旅行で訪れた法隆寺に感激し宮大工を志す。21歳のときに法隆寺宮大工の西岡常一棟梁に入門、唯一の内弟子となる。法輪寺三重塔、薬師寺金堂、西塔の再建において副棟梁を務める。昭和52年、寺社建築専門の建設会社として鶴工舎を設立。平成15年、厚生労働省による卓越した技能者表彰「現代の名工」に選ばれる。平成19年、鶴工舎設立30周年を機に現役引退。

斑鳩町とは？

奈良県生駒郡斑鳩町。面積14.27km²、人口約2万8千人の小さな町ですが、年間100万人もの観光客が訪れる日本有数の観光都市です。聖徳太子により建立された法隆寺をはじめ、法輪寺、法起寺、中宮寺などの古代寺院や藤ノ木古墳といった重要な遺跡が数多く残されており、「法隆寺地域の仏教建造物」は、世界最古の木造建築物としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されています。



法隆寺西院伽藍



上空から見た千代遺跡群一帯

法隆寺ゆかりの都市文化交流協定書

聖徳太子が斑鳩の地で国の礎を築き、日本文化に灯をともした想いは、「法隆寺」として、1400年を超える今も色あせることなく、その姿を残し、我々に数多くの学ぶべきものを伝えていきます。

その法隆寺の古文書には、小田原の地名が法隆寺の「食封」として記述され、法隆寺と小田原とのゆかりを知ることができます。

小田原市と斑鳩町の両市町には、豊かな自然や先人たちが築き上げてきた固有の文化や伝統があります。これらは、その地域を理解する上で欠かすことのできない財産であり、ここに暮らす人たちの誇りと愛着を育む重要な要素となっています。

そこで、両市町はこの法隆寺の食封の縁（えにし）を契機として、歴史的・文化的資産を活用した「文化交流」を展開し、両市町の魅力と活力を高めていきます。

1 古（いにしえ）の縁（えにし）を新たな交流の起点として、永く後世の世代までも引き継いでいくことをお互いに自覚し、住民意識の高揚を図ります。

2 地域資源である歴史的・文化的資産等を活用した事業を展開するほか、教育、産業、観光などの交流を推進し、両市町相互の親善を深め、地域の発展をめざします。

平成24年2月11日

神奈川県小田原市長

加藤 憲一

奈良県生駒郡斑鳩町長

小城 利重

斑鳩町と小田原市 交流のあゆみ

平成22年6月

小田原市制70周年及び平城京遷都1300年を機に、ヒルトン小田原リゾート&スパにて法隆寺 大野管長による特別講話会「再発見、法隆寺と小田原 ～法隆寺と小田原の関わり～」を開催。大野管長と加藤市長が面会。



ヒルトン小田原にて

平成22年9月13日

小城町長が小田原市を訪問。
加藤市長と面談し、今後も双方の友好関係を育てていくことを確認。



協定書調印式

平成22年10月18日

加藤市長が斑鳩町を訪問。
大野管長、小城町長と面談し、友好関係確立に向けた検討の進捗状況を報告。



交流展・記念式典
(郷土文化館にて)

平成23年2月19日～20日

法隆寺門前にて開催される「斑鳩市」に小田原市が出店。(以降継続)

平成23年7月～12月

文化交流協定の締結及び交流を目的とした展示事業の開催に向けて、両市町の職員が相互に訪問。



北條五代祭り・名物市

平成24年2月11日

斑鳩町制65周年を機に、斑鳩町にて「法隆寺ゆかりの都市文化交流協定書」に調印。

平成24年2月25日～3月25日

小田原市郷土文化館にて、交流展「飛鳥時代の斑鳩と小田原」を開催。
開催初日の2月25日に記念式典、翌26日に報徳博物館にて記念講演会を開催。



「鶺鴒」による和太鼓演奏

平成24年3月11日

「小田原尊徳マラソン大会」に斑鳩町教育長、町議会議員らが参加。(以降継続)

平成24年5月2日～4日

「小田原北條五代祭り」の開催に伴い、小城町長が来訪。
「名物市」に斑鳩町が出店。(以降継続)



交流展・記念講演会
(斑鳩町にて)

平成24年7月21日～22日

「小田原ちょうちん夏まつり」にて斑鳩町の和太鼓団体「鶺鴒(いかる)」が演奏。
斑鳩町が「小田原・箱根ツアー」を企画し、小城町長ら20名が参加。

平成25年2月10日～3月17日

斑鳩町にて、交流展「小田原北条氏五代100年の興亡」を開催。
開催初日の2月10日に記念式典及び記念講演会を開催。



法隆寺マラソン大会

平成25年2月11日

「いかるがの里法隆寺マラソン大会」に小田原市教育長、小田原市職員有志らが参加。

小田原市文化部文化政策課

〒250-8555 小田原市荻窪300番地

電話 0465-33-1703